



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



専修大学松戸中学校・高等学校
Senshu University Matsudo Junior High school & Senior High school

県代表の専大松戸高校に県産農畜産物でエール（3月4日、専大松戸高校にて）

左から JA全農ちば 吉田県本部長 JAとうかつ中央 田嶋会長 JA全農ちば 松元会長 専大松戸高 富山理事長 五味校長 JAとうかつ中央 嶋村理事長
詳細はP.14へ

私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋 になります。

CONTENTS

食と農を未来へつなぐ。

- 段ボール資材のコスト低減に向けた取り組み

営農情報

- 園芸野菜 病害虫防除情報
- 果樹（ナシ）病害虫防除情報

園芸情報

- 販売経過および情勢

米穀情報

- 米穀情勢

肥料情報

- 混合堆肥複合肥料について

資材情報

- 「失敗しないためのハウス導入のポイント」のご紹介
～「作物」「自分」「地域環境」に合ったハウスを選ぶために～

トピックス

- ハウス食品(株)と連携した千葉県フェアの開催について
- きやっせ物産展2026に出展しました
- 第3回ミルクとお野菜とお肉のお料理教室を開催
- 甲子園出場の専大松戸高校に県産農畜産物でエール

全農

ZEN-NOH

食と農を未来へつなぐ。

JA全農ちばの取組状況

園芸資材事業

段ボール資材のコスト 低減に向けた取り組み

1. 取組目標と内容

低コスト原紙の導入、適正な材質および形状への見直し等により、段ボール資材コストの低減をはかるため、段ボール箱の使用状況と規格の比較点検を実施し見直しをすすめています。

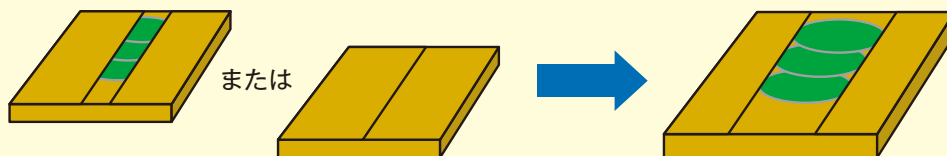
☆規格点検と見直しのポイント

段ボール価格は、主に原紙の使用量と材質で決まります。主な点検ポイントとなるのは、以下の2点となります。

(1) フラップ（段ボールの天蓋の部分）の長さ

⇒もっとフラップを短くカットしても輸送上問題がなく、段ボール原紙の使用量を減らすことができます。

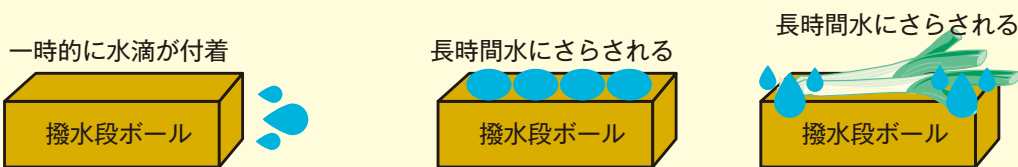
<https://youtu.be/Uxt0HC6g1Bo>



(2) 撥水加工

⇒撥水加工は、一時的には有効ですが長時間の湿潤下では効果がないため、撥水加工が不要な場合もあります。

<https://youtu.be/MJveqlp7buo>



○ 撥水剤の効果により水をはじく

× 原紙内に水分が浸透：撥水の効果はなくなる

2. 取り組みの進捗状況

令和7年度（2月末）での低コスト原紙の使用率は76%（前年度同期70%）となりました。今後も、実際の使用場面を想定しながらJAと実用性を検証し、コスト低減に向けた見直し・切り替えをすすめます。

●低コスト原紙とは…

JA全農と段ボール製紙メーカーで共同開発・実用化した、青果物用のJA全農オリジナル低コスト原紙（G K210、A K210・170、A S160・120）

1. はじめに

春夏作物の準備時期となりました。気象庁発表の1か月予報によると、3月は気温が高くなることが予想されています。暖かくなり、病害虫ともに急激な増加の恐れがありますので、注意して防除を行いましょ。また、近年異常気象とも言われているとおり、日々の気温差に加え、一日の中でも気温差が大きくなります。寒暖差にも注意して換気や灌水を行いましょ。

2. にんじん — ヒョウタンゾウムシ

ヒョウタンゾウムシの多くは圃場外から侵入し、畝内へ入ってきます。マルチの隙間や土の塊の下に潜っていることが多い害虫です。

トンネル除去前後の発生状況を確認し、成虫防除として、2024年9月に適用拡大されたトクチオン細粒剤F、またはコテツフロアブルの散布を行いましょ。



ヒョウタンゾウムシ成虫

幼虫

●にんじん ヒョウタンゾウムシ 防除薬剤

IRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
1B	トクチオン細粒剤F	6kg/10a	収穫21日前	2回以内	株元散布
13	コテツフロアブル	2000	収穫前日	2回以内	成虫防除剤
22B	アクセルフロアブル	1000	収穫前日	3回以内	成虫防除剤

※登録のうち最大濃度を示す（例：1000～2000倍登録→1000）

3. スイカ・メロン — うどんこ病

うどんこ病は苗床から持ち込んでしまうこともあります。発生は中段以下の葉から始まるため、発生初期を見逃さないように注意しましょ。苗の段階で明らかに被害が見られる場合には定植を避けるか、定植後に治療効果のある殺菌剤の散布を行いましょ。定植後はベルコートフロアブルなどの予防を基幹とし、着果後の急速な蔓延に備える早めの対策を心がけましょ。



うどんこ病 病斑

●スイカ・メロン うどんこ病 防除薬剤

FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルコートフロアブル	1000	収穫前日	☑：4回以内 ☒：5回以内	予防・治療△
3	トリフミン水和剤	3000	収穫前日	5回以内	予防・治療
7	パレード20フロアブル	2000	収穫前日	3回以内	予防・治療△
11	ストロビーフロアブル	2000	収穫前日	3回以内	予防・治療

※登録のうち最大濃度を示す（例：1000～2000倍登録→1000）

☑：スイカ、☒：メロン

果樹（ナシ）病害虫防除情報

1. はじめに

今年の桜の開花時期は平年よりも早くなると予想されています【桜開花予想（2月12日現在）：東京3月20日・銚子3月28日】。同様に、ナシの開花時期についても平年より早まる可能性があります。花芽の様子や気象状況をよく確認し、作業を前倒しにするなどの計画を立て、病害虫の被害を抑えられるように努めましょう。

2. ナシマルカイガラムシ・その他カイガラムシ類

主に枝に寄生し、吸汁加害します。発生密度が高いと果実表面にも寄生するため、商品価値を低下させます。発生密度を抑えるためには、春先のマシン油乳剤散布が重要です。

これは、カイガラムシ類のほかにも、ハダニ類やニセナシサビダニの防除も兼ねます。しかし、薬剤が虫体に付着しないと効果が期待しにくいいため、発生している樹には散布ムラのないよう、丁寧（特に枝上面や分岐点部分）に散布しましょう。



カイガラムシ 被害

(1) 薬剤防除

● 3月上旬ごろ

ハーベストオイル 50倍 (発芽前)
+
アプロードフロアブル 1,000倍 (収穫30日前まで・2回以内)

※ハーベストオイル（マシン油乳剤）は発芽前に散布する

※アプロードはナシマルカイガラムシ多発園で加用（同時散布）する

※アプロードは水和剤でも可

3. 黒星病・アブラムシ

各防除適期（りん片脱落期から交配終了後まで）を逃さないようにしましょう！

(1) 耕種的防除（黒星病）

芽基部に発病が見られた場合は基部から切除しましょう。また、黒星病が発生した落葉は、そこから孢子が飛散し、伝染源になります。園内に残っている落葉は、土中に埋めるか園外に持ち出して処分しましょう。



黒星病 病斑

(2) 薬剤防除

①りん片脱落期（3月下旬ごろ～）

- ・トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
または
- ・デランフロアブル 1,000倍（収穫60日前まで・4回以内）

早い品種の花芽が
これくらい開いて
きたら防除



②りん片脱落終了後～開花直前（4月上旬ごろ）

- マネージDF 8,000倍（収穫21日前まで・3回以内）
+
- トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
+
- オリオン水和剤40 1,000倍（収穫3日前まで・2回以内）

※混植園の散布目安は開花の早い品種（豊水など）のりん片脱落終了後～開花直前

③開花中【臨機防除】（長雨や強雨の影響で追加防除が必要な場合）

- トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
※散布当日は受粉作業を行わないこと

④交配終了後（4月中下旬ごろ）

- スコア顆粒水和剤 4,000倍（収穫14日前まで・3回以内）
+
- トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
+
- バリアード顆粒水和剤 4,000倍（収穫前日まで・3回以内）

(3) アブラムシ被害について

アブラムシは3月下旬ごろから飛来し始め、展葉期ごろから、右写真のように葉が縮れて内側に巻くような被害が現れます。発生すると急激に増殖するため、抜け目ない防除を実施しましょう。



アブラムシ 被害

4. その他

また、千葉県農林水産部から「ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）」が導入されています。開花予測の参考にしながら適宜防除を実施しましょう。

HP：ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）／千葉県 (chiba.lg.jp)
<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/nashikaikayosoku.html>



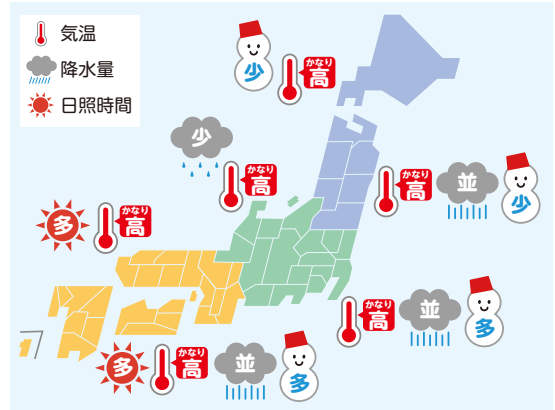
園芸情報

販売経過および情勢

青果物 2月の販売経過

2月は冬型の気圧配置が長続きせず、暖かい空気に覆われる時期が多かったことから、月平均気温は全国的にかなり高くなりました。また、日照時間も同様の理由から西日本太平洋側および日本海側で多くなりました。

降水量は、下旬に低気圧や前線の影響を受けた北・東日本太平洋側および西日本では平年並みとなりましたが、東日本日本海側では少なくなりました。降雪量は、月上旬に寒気が南下した影響から、東・西日本太平洋側では平年より多かったものの、北日本は平年より少なくなりました。



【野菜】 東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は92,787 tと前年をやや上回りました。前月から引き続き、キャベツは干ばつの影響から肥大不足はみられたものの、にんじん、ねぎ類、ブロッコリーは気温高および降雨により生育が進み、前年を上回りました。一方で不作傾向のたまねぎ、ばれいしょ類は前年を下回りました。価格は入荷増から荷動きが鈍い品目が多く、301円/kgと前年を下回りました。

【果実】 同市場の国産果実の入荷量は25,762 tと前年を上回りました。みかん類は産地切り替えにより前月に比べ出荷量は落ち着きましたが、他柑橘類は各産地作柄が良く、前年を上回りました。また、いちご類についても順調な出荷推移となったことから前年を上回りました。価格は潤沢な入荷状況から荷動きが鈍く644円/kgと前年を下回りました。*東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（2月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	92,787	101.6	301	88.2
果 実	25,762	111.3	644	84.4

JA全農ちばの販売状況（2月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	24,681	92.3	186	83.7	4,581	77.3
果 実 計	258	109.6	1,320	96.8	340	106.1
だいこん	6,179	83.8	89	78.7	550	66.0
にんじん	5,341	116.1	142	73.5	760	85.3
キャベツ	4,354	75.4	102	57.1	443	43.1
ほうれん草	128	101.2	385	89.1	49	90.2
ね ぎ	1,643	107.3	389	78.2	639	83.9
春 菊	93	90.1	768	106.9	71	96.4
レ タ ス	502	100.8	255	79.3	128	80.0
パ セ リ	20	88.9	773	85.2	16	75.7
な ば な	123	90.6	910	95.0	112	86.1
きゅうり	1,434	95.1	360	87.9	516	83.7
ト マ ト	261	105.3	337	98.8	88	104.0
さつまいも	3,017	96.8	232	103.0	701	99.7
い ち ご	257	109.7	1,323	96.9	340	106.3

【訂正とお詫び】 2月号P.5に掲載の「JA全農ちばの販売状況」取扱額欄の品目ごとの金額が単位（百万円）に対して小数点以下を処理すべきところ、単位（円）の桁数の状態にて掲載しておりました。正しくは、コンマ（,）をピリオド（.）とし、“少数第一位を四捨五入”した次のとおりとなります。だいこん713百万円、にんじん1,199百万円、キャベツ555百万円、さつまいも670百万円、ねぎ679百万円、きゅうり582百万円、レタス171百万円、トマト132百万円、ほうれん草59百万円、なばな93百万円、春菊105百万円、パセリ24百万円、いちご315百万円 訂正してお詫び申し上げます。

園芸情報

③ 月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品目	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	多	14,664	安	172	愛知 神奈川 千葉	生育は各産地とも概ね順調。春商材として量販店を中心に需要増となるものの、神奈川の出荷が本格化するため入荷量は前年を上回り、単価は前年を下回る見込み。
だいこん	並	7,950	安	139	神奈川 千葉	神奈川の出荷量が多いものの今後漸減傾向となる見通し。価格は大根の総量が多いことに加え、青果物の荷動き鈍いものの、神奈川の減少とともに単価はやや上向く見込み。
にんじん	やや多	5,236	やや安	285	徳島 千葉	千葉の残量がある中、徳島が増加するため、少ない前年を上回る出荷量となる見込み。全体的な出荷量の増加に伴い販売苦戦が予想され、前年を下回る価格となる見込み。
トマト	並	5,149	並	428	熊本 本木	各産地の生育は順調で出荷量は中旬以降に増加する見込み。価格は気温の上昇に伴い春商材として引き合いが強まり、売り場も広がり、前年並みとなる見込み。
きゅうり	並	5,003	安	392	群馬 馬崎 千葉 埼玉	北関東産は生育順調で、曇天の予報はあるものの、気温の上昇に伴い引き続き増加傾向となる見込み。増量に伴い価格は軟調に推移し、前年を下回る見込み。
ねぎ	やや多	3,045	安	574	千代田 茨城 葉玉 城	土寄せ作業に遅れは見られるが、生育は良好のため、出荷量は前年を上回る見込み。価格は春商材に切替わり、下旬以降は業務用需要が減少し、高かった前年を下回る見込み。
ほうれん草	並	1,660	やや安	462	茨城 群馬 城馬	主力産地の生育は概ね順調のため、前年並みの出荷量を見込む。量販店では春商材中心の売り場構成となるため、ほうれん草の販売は苦しく、軟調な販売展開が続く見込み。
パセリ	並	42	やや安	971	千葉 静岡 葉岡	主力産地の生育は順調のため、前年並みの出荷量を見込む。価格では、洋菜類全般で出荷量が多く販売苦戦しているため、軟調な販売展開が続く見込み。
春菊	並	173	やや安	683	栃木 千葉 茨城 葉城	干ばつや低温の影響で遅れていたものの、入荷量は前年並みとなる見込みから、価格は需要減退も伴って厳しい状況となり、前年を下回る推移を見込む。
レタス	並	5,107	並	207	茨城 静岡 城岡	主力産地は気温上昇と降雨により生育回復が見込まれる。中旬には茨城が出荷最盛期を迎え入荷量が多く軟調な販売が予想され、単価は販売苦戦となった前年並みを見込む。
なばな	少	253	並	1,093	千葉 徳島 葉島	3月以降に生育回復し増加傾向となった前年を下回る入荷を見込む。節句以降も春商材として需要は高いが、青果物全般で潤沢な出荷を見込むため単価は前年並みを見込む。
さつまいも	やや少	2,800	並	268	千葉 茨城 葉城	生育順調で太物中心だが、次作の植え付けを早める作業に移行する生産者も多く入荷量は前年を下回る見込み。春商材を中心とした売り場構成となり軟調な販売を見込む。
いちご	並	6,067	並	1,363	栃木 福井 茨城 岡城	全国的に出荷量が増加し、多かった前年並みを見込む。価格はひな祭り以降、大きなイベントがなく、出荷量の増加に伴い単価は徐々に弱めとなることを見込む。

花 販売情勢

◆2月の販売経過【切花】

昨年は、年内から続いている低温の影響から生育が遅れている品目が多く、不安定な入荷となりました。本年については、年明けから天候が安定したことから生育が順調に推移し、前年を上回る入荷量となりました。

販売については、上旬は大きな需要も無く、物価高の影響から嗜好品である花の一般消費が鈍い状況が続いたことから厳しい販売環境となりました。中旬は、フラワーバレンタイン需要によりチューリップ等の洋花は活発な荷動きとなりましたが、その他の品目は上旬と同様に厳しい販売となりました。下旬は、2月中の天候が良好であったことから安定した入荷となりましたが、3月上旬の桃の節句に向けて若干動きが出る品目もありました。

◆今後の見通し（4月）【切花】

昨年は、気温上昇とともに出荷増となり、月後半にかけて潤沢な入荷となりました。本年については、年明けからの天候に恵まれたことから生育が前進する品目が散見されていますが、今後、昨年と同様に春先が低温となれば、不安定な入荷状況となることが懸念されます。

販売は、上旬は入学式や歓送迎会等で洋花類を中心に安定した販売となる見込みです。中旬は、大きなイベントが無いことから厳しい販売となることが予想されますが、ガーベラにおいては4月18日のガーベラ記念日に向けて動きが出る見込みです。月末については、5月の母の日需要に向けて洋花中心に動きが出始める見込みです。



◆今後の見通し（4月）【品目別】

品 目	作 柄 お よ び 概 況
カーネーション	千葉・愛知・静岡などからの出荷。 各産地、気温上昇とともに出荷増となる見込み。輸入品においては為替の影響次第ではあるものの、平年並みの入荷量となる見込み。 下旬以降は、母の日に向けて安定した販売となる見込み。
トルコキキョウ	沖縄・九州地方を中心とした出荷。 気温上昇の影響から生育が前進傾向となっており、平年を下回る入荷量となる見込み。 ブライダル等の業務需要中心の販売になる見込み。
カ ラ ー	千葉を中心に愛知などからの出荷。 気温上昇とともに徐々に出荷増となり、平年並みの入荷量となる見込み。 ブライダル等の業務需要中心の販売になる見込み。
きんぎょそう	千葉・埼玉などからの出荷。 各産地、生育は概ね順調に推移しているが、気温上昇による花染み等の品質低下が懸念される。 業務需要中心の販売になる見込み。
ガ ー ベ ラ	静岡・千葉などからの出荷。 主力である静岡を中心に出荷量が潤沢な時期となるため、安定した入荷となる見込み。 ガーベラ記念日に向けて動きが出る見込み。

米穀情勢

1. 米穀販売事業者の動向について

農林水産省が公表した「米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向」によると、令和8年1月単月の米穀販売事業者の販売数量は、前年同月比88.7%となっています。うち、小売事業者向けは前年同月比87.4%、中食・外食事業者向けは前年同月比90.0%とともに下回っています。

販売価格は、令和8年1月単月の小売事業者向けで前年同月比124.5%、中食・外食事業者向けは150.3%と前年を大きく上回る価格で推移しています。

【米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向（速報）】

ア. 販売数量の動向

前年同月比（カッコ内は令和元年同月比）

	R7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年 1月
小売事業者向け販売	94.1%	89.2%	86.3%	91.9%	92.7%	87.7%	93.9%	84.4%	99.0%	106.5%	91.7%	90.7%	87.4%
(令和元年との比較)	(103.7%)	(99.4%)	(93.5%)	(100.1%)	(105.7%)	(102.5%)	(96.8%)	(89.2%)	(85.5%)	(90.5%)	(87.5%)	(89.1%)	(90.6%)
中食・外食事業者等向け販売	100.9%	95.4%	98.0%	97.0%	90.0%	97.7%	93.4%	91.0%	93.6%	92.6%	89.9%	88.5%	90.0%
(令和元年との比較)	(96.4%)	(95.6%)	(92.8%)	(91.2%)	(91.5%)	(94.7%)	(90.2%)	(88.3%)	(91.5%)	(92.7%)	(89.5%)	(86.7%)	(86.5%)
販売計	97.2%	91.9%	91.3%	94.0%	91.6%	91.7%	93.6%	87.4%	96.4%	99.5%	90.8%	89.6%	88.7%
(令和元年との比較)	(100.1%)	(97.6%)	(93.2%)	(96.0%)	(99.3%)	(99.0%)	(93.8%)	(88.8%)	(88.2%)	(91.5%)	(88.5%)	(87.9%)	(88.6%)

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

イ. 販売価格の動向

前年同月比

	R7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8年 1月
小売事業者向け販売	168.8%	176.0%	184.5%	187.3%	185.3%	171.8%	158.8%	152.6%	138.7%	133.0%	135.0%	132.6%	124.5%
中食・外食事業者等向け販売	143.4%	156.7%	170.0%	175.3%	173.9%	176.1%	175.7%	174.8%	173.9%	166.2%	156.3%	155.8%	150.3%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 調査対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トン以上の販売事業者である。

2 上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の数量・価格の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

3 速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

2. 米の消費動向について

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構が公表した「米の消費動向調査」の結果によると、1人1カ月当たりの精米消費量は、令和8年1月単月で4,404g、前年同月比93.4%と前年を下回る結果となりました。

用途別では、家庭内消費量が令和8年1月単月で2,898g、前年同月比88.4%と前年を下回る一方、中・外食消費量は1,505g、前年同月比105.0%となりました。

[参考] 1人1か月当たり精米消費量の推移

精米g/人、%

	1か月当たり消費量			家庭内消費量			中・外食消費量		
		シェア	対前年 同月比		シェア	対前年 同月比		シェア	対前年 同月比
令和8年1月	4,404	100.0	▲6.6	2,898	65.8	▲11.6	1,505	34.2	5.0
令和7年12月	4,486	100.0	▲6.3	2,964	66.1	▲9.1	1,522	33.9	▲0.6
令和7年11月	4,659	100.0	▲7.8	3,045	65.4	▲11.7	1,614	34.6	0.7
令和7年10月	4,649	100.0	▲4.1	3,034	65.3	▲5.1	1,615	34.7	▲2.2
令和7年9月	4,422	100.0	▲1.8	2,970	67.2	▲1.3	1,452	32.8	▲2.9
令和7年8月	4,299	100.0	▲4.6	2,881	67.0	▲2.4	1,418	33.0	▲8.7
令和7年7月	4,108	100.0	▲9.1	2,709	65.9	▲10.6	1,400	34.1	▲6.0
令和7年6月	4,313	100.0	▲10.2	2,886	66.9	▲11.1	1,427	33.1	▲8.3
令和7年5月	4,329	100.0	▲9.5	2,842	65.7	▲13.5	1,487	34.3	▲0.9
令和7年4月	4,611	100.0	▲9.4	3,067	66.5	▲10.8	1,544	33.5	▲6.7
令和6年度	4,722	100.0	2.1	3,189	67.5	3.3	1,533	32.5	▲0.3
令和5年度	4,626	100.0	0.0	3,088	66.8	▲2.7	1,538	33.2	6.1
令和4年度	4,625	100.0	2.1	3,175	68.6	1.1	1,449	31.3	4.4
令和3年度	4,529	100.0	▲4.2	3,140	69.3	▲4.1	1,388	30.6	▲4.7
令和2年度	4,730	100.0	2.2	3,274	69.2	5.1	1,456	30.8	▲3.7

(注) 1. 令和2～令和6年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。
 2. 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。
 3. 前年度と今年度の推移を参考として4ページに掲載している。

3. 令和7年産米の食味ランキングについて

2月27日に日本穀物検定協会より公表された令和7年産米の食味ランキングで、千葉県産「粒すけ」の県南が「特A」、県北が「A」、「コシヒカリ」の県北が「A」、県南が「A'」、ふさおとめの県北・県南が「A」の評価となりました。

千葉県と連携した継続的な取り組みが実り、「粒すけ」は令和5年産から出品開始以来、初となる「特A」ランク獲得となりました。

なお、国内144産地品種（前年差+1）が対象となっており、ランク別の産地銘柄数は、最高評価の「特A」43（前年差+4）、「A」は71（前年差▲5）、「A'」は30（前年差+2）となりました。

[千葉県産米の年度別食味ランキング結果の推移]

品種	地区・年産	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
コシヒカリ	県北	A	特A	特A	A	A	A	A	A
コシヒカリ	県南	A	A	A	特A	A	A'	A	A'
粒すけ	県北	—	—	—	—	—	A	A	A
粒すけ	県南	—	—	—	—	—	—	A	特A
ふさおとめ	県北・県南	A'	A	A'	A'	A'	A	A'	A
ふさおとめ	県北・県南	A'	A'	A	A'	A'	—	—	—

4. 生産履歴記録簿への記帳について

生産履歴記録簿は皆さんの出荷するお米が、適正な管理で栽培されたことを担保し、消費者へ安心を提供するための大切な記録です。

令和8年産においても、記帳の趣旨にご理解いただき、正しい記帳にご協力をお願いします。記帳のポイントは次のとおりです。

≪ 記帳のポイント ≫

1. **JA名**：JA名を必ず記入してください。
2. **作付品種**：作付品種の番号を記入してください。2品種以上の場合は、品種ごとに記録簿を提出してください。
3. **作付圃場**：圃場地番と面積を記入してください。ただし、合筆してある圃場は代表地番だけで結構です。**合計面積も忘れずに記入してください。**
4. **前作鋤き込み**
環境負荷低減の取組として、水田からの温室効果ガス排出低減に資する秋耕を推奨しています。そのため、前作鋤き込み作業実施日を記載してください。
5. **出穂期の確認**：目的は品種の取り違いや混入を早期に発見することです。全圃場の出穂期確認が、JA米の必須要件です。未確認ではJA米になりません。**必ず確認して、記入してください。**出穂期の異常、混入に気づいたら、すぐJAにお知らせください。
※『出穂期』とは、圃場の40～50%出穂した時期のことです。
6. **耕種概要**：播種日、移植日等をご記入ください。播種量は箱当たり、または種子4kg当たり、のいずれかをお書きください。
この記録簿は出荷の前に提出していただきますので、収穫予定日をご記入ください。
7. **選別網**：該当する選別網サイズに○を付けてください。**1.8mm未満の場合は、JA米になりません。**一般米扱いになります。
8. **中干し期間**
中干しを実施した期間を記入してください。近年、高温が続く中で適切な時期・期間での中干しが必要となります。
9. **肥料・農薬**：原則として、10a当たりの使用量を記入しますが、農薬は箱当たり、倍率などで書く場合もあります。実際に、基準どおりに使っていても、単位を間違えると記録上は使用基準違反となります。

* 8年産生産履歴記録簿レイアウト（一部）

令和8年産千葉の美味しいお米・生産履歴記録簿 ～ みんなで取り組もう！生産履歴記帳運動 ～ JA・JA全農ちば							
(代表圃場を最初に書いて下さい)	No.	圃場（字・地番）	前作鋤き込み	幼穂形成期	葉色/生育等	出穂期	面積
	1		月 日	月 日		月 日	a
	2		月 日	月 日		月 日	a
	3		月 日	月 日		月 日	a
	4		月 日	月 日		月 日	a
	5		月 日	月 日		月 日	a
	6		月 日	月 日		月 日	a
	7		月 日	月 日		月 日	a
						合計面積	a

★この記録簿の利用目的

- JA、JA全農ちばの提供する商品・サービスに関する情報の提供等
- 業務遂行に必要な範囲で、行う関係団体、取引先等への提供

私は上記の利用目的に同意し、この記録簿を提出します。

★作付面積の合計を記入して下さい。

★栽培する圃場のうち、標準的な圃場を代表圃場とし、作業日は代表圃場について記帳して下さい。 ★該当する選別網に○を付けて使して下さい
 ★出穂期は品種確認のため、JA米の必須項目となっています。必ず、圃場ごとに確認、記入して下さい。 ★その他の枠は記録・メモとしてお使い下さい。

概要	1. 播種日	月 日	4. 移植日	月 日	7. 中干し期間	月 日～ 月 日
	2. 播種量	g/箱(箱/4kg袋)	5. 収穫予定	月 日頃		
	3. 代かき日	月 日	6. 選別網サイズ	1.8 · 1.85 · 1.9 mm～		

肥料情報

混合堆肥複合肥料について

肥料の原料の大半を輸入している日本では、堆肥などの国内資源を有効活用することで、国際情勢に影響されにくい**肥料の安定供給に貢献**します。

「混合堆肥複合肥料」は、2012年9月の公定規格の一部改正により設定され、改正前にはできなかった、化成肥料と堆肥（豚ふん堆肥、鶏ふん堆肥）の混合が可能となりました。また2020年12月の改正により、さらに牛ふん堆肥も加わりました。



堆肥（特殊肥料）

- ・施用しにくい
- ・成分にばらつきがある
- ・窒素の肥効が低い
- ・衛生・雑草リスクあり

肥料（普通肥料）

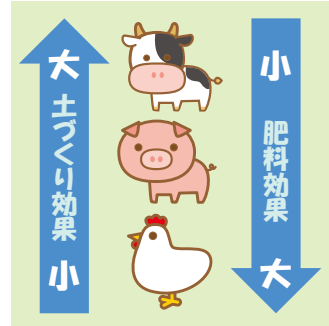
- ・有機物供給は少ない
- ・土壌pHが低下しやすい



混合堆肥複合肥料

- ・施用しやすい（ハンドリングが良い）
- ・有機物を供給する
- ・可給態窒素が増加する
- ・硝化が遅い
- ・リン酸肥効が高い
- ・土壌pHが安定する
- ・精密に施肥設計できる
- ・有機化成に比べ成分あたりの価格が安い
- ・衛生・雑草リスクは無い

様々な機能性を持つ肥料



（出典：農研機構 混合堆肥複合肥料の製造とその利用より）

混合堆肥複合肥料のご紹介



JAグループ千葉オリジナル肥料
ちばの恵み ぎゅ〜っと885 (N-P-K : 8-8-5)

- 《特徴》
- ・千葉県産の牛ふん堆肥を約40%配合し、より土づくり効果の高い牛ふんを活用
 - ・散布しやすい粒状（アグレット状）
 - ・「みどりの食料システム戦略※」への対応
- ※「みどりの食料システム」とは、環境負荷軽減を目指す農林水産省の政策方針です。その中で、2050年までに目指す姿の1つとして「化学肥料使用量の30%削減」を掲げています。



エコレット808
N-P-K : 8-10-8
豚ふん堆肥約50%

エコレットシリーズ

豚ふん堆肥を活用した肥料



エコレット208
N-P-K : 12-10-8
豚ふん堆肥約40%
微量元素入り



エコマスターDd807
N-P-K : 8-10-7
豚ふん堆肥約30%
亜リン酸と硝酸化成抑制剤のジシアンを配合

エコマスターシリーズ

豚ふん堆肥を活用した亜リン酸入り肥料



エコマスター065
N-P-K : 10-6-5
豚ふん堆肥約30%
亜リン酸を配合

詳しい使い方については最寄りのJAにお問い合わせください



「失敗しないためのハウス導入のポイント」のご紹介 ～「作物」「自分」「地域環境」に合ったハウスを選ぶために～

栽培者として、経営者として、自分に最適な農業用ハウスの導入を検討するため、ポイントをまとめた「失敗しないハウス導入のポイント」がネットで簡単にご覧いただけます。ハウス新設をご検討の際には是非ご活用ください。

○農業用ハウス導入の際に注意すべき点とは

農業用ハウスは、作物にとっては、「生育環境」、働く人にとっては、「作業環境・職場環境」です。そのため、農業用ハウスを購入することは、ただの「設備」を購入するだけでなく、「環境」を購入しているといえます。

自分に合った「ハウス＝環境」を購入するためには、作物や栽培方法、作業方法などの「中身」に最適なハウス構造や設備を検討していく必要があります。

例えば、間口（ハウスの入口となる面）の長さを検討する際に、作物の畝間や作業のための通路幅を先に決めてから間口の長さを決めることで、用途の無い無駄なスペースが生まれずに効率的なハウスにすることができます。

○掲載内容

土地確認やハウスイヤウトといったポイントから、暖房機器やカーテン機器、かん水機器のような付帯設備の選定のポイントなど掲載しております。全国で講習会や新規就農者向けの研修にも活用されています。

掲載項目	
1. ハウスを導入するまでの流れとポイント	6. 二酸化炭素発生機導入のポイント
2. 土地確認のポイント	7. カーテン機器・選定のポイント
3. ハウスイヤウト検討のポイント	8. 環境制御機器の選定のポイント
4. 間口・軒高検討のポイント	9. かん水機器選定のポイント
5. 暖房機器選定のポイント	10. ハウス事例集
	11. 生産者インタビュー
	12. 園芸施設施設主代行のご紹介

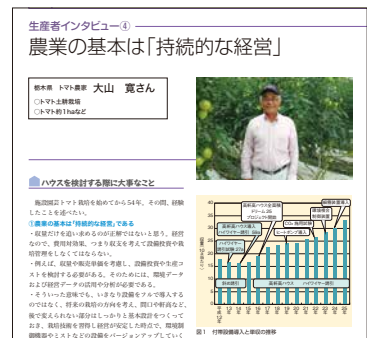


本冊表紙

○PDFデータの閲覧方法

（一社）日本施設園芸協会HPからダウンロードできます。

<https://jgha.com/house-point/>



一部抜粋

ご不明な点はお気軽に最寄りのJAまたはJA全農ちば資材課(043-245-7379)にお問い合わせください

TOPICS

ハウス食品(株)と連携した 千葉県フェアの開催について

J A全農ちばは千葉県産秋冬野菜の出荷が本格化する2月において、大手食品メーカーのハウス食品(株)や千葉県、卸売市場と連携し、下記のとおり千葉県フェアを開催しました。

1. せんだう千葉県フェア（卸売市場：千葉青果(株)）

2月7日(土)～9日(月)にかけてせんだう全店（24店舗）にて千葉県フェアを開催しました。

当フェアにおいては、千葉県産のキャベツ、にんじん、さつまいもを使用したオリジ

ナルのシチューをハウス食品(株)に考案していただき、7日(土)～8日(日)にかけて計10店舗で試食販売を実施しました。フェア期間中は降雪となるあいにくの天候となりましたが、冷え込みが強い中での温かいメニューは大変好評であり、試食商材を中心に好調な売れ行きとなりました。



2月7日(土)～9日(月) せんだう千葉県フェアの様子（左：おゆみ野店、右：五井中央店）

2. 京成ストア千葉県フェア（卸売市場：東京青果(株)）

2月12日(木)～15日(日)にかけて京成ストア全店（20店舗）にて千葉県フェアを開催しました。当フェアにおいては、千葉県産のだいこんやキャベツ、さつまいも等を使用したオリジナルカレー・クラムチャウダーを考案していただき、基幹店である八千

代台店にて試食販売を行いました。お客さまからは、安心や安定した美味しさを求めて千葉県産を購入するといった声が聞かれ、試食についても斬新なメニューに興味をもっていただくことができました。



2月12日(木)～15日(日) 京成ストア千葉県フェアの様子（八千代台店）



TOPICS

きやっせ物産展2026に出展しました



2月15日(日)、J A全農ちばは、幕張メッセで開催された生活協同組合コープみらい（以下コープみらい）主催の「コープみらいフェスタきやっせ物産展2026」に出展しました。千産千消を提唱しながら、県内で生産されたねぎ、きゅうり、菜花、レモン、葉たまねぎ、アイスプラント等の農産物の販売を行いました。約2万人のお客様が来場し、お客さまからは「葉たまねぎやアイスプラントは今まで食べたことがなかった。調理方法を教わったので、購入したい」等の声がきかれました。

J A全農ちばは引き続き関係機関と協力し、千葉県産青果物の消費拡大を図るため販売促進活動をすすめてまいります。

TOPICS

第3回ミルクとお野菜とお肉のお料理教室を開催



千葉県産を使用したランチが完成！

J A全農ちばは2月11日(水・祝)、J A西印旛と千葉県牛乳普及協会とともに、同J Aとれたて産直館印西店にて、お料理教室を開催しました。

冬は寒いため冷たい牛乳の需要が落ち込む一方、生乳生産はピークを迎えます。料理教室では、牛乳を少しでも多く消費していただくため、千葉県伝統郷土料理研究会の石橋京子先生を講師に迎え、牛乳を使用した家庭でも実践しやすいメニューに挑戦しました。当日は事前に申し込みいただいた15名が参加。講師によるデモンストレーションの後、参加者の皆さまが実際に調理し、和やかな雰囲気の中で交流を深めながら、県産食材の良さを体感していました。

今回使用した食材は、千葉県産の牛乳、野菜（ちぢみほうれん草・にんじん・レタス等）、房総ポークです。

参加者からは、「牛乳で切り干し大根を戻すことに驚いた」「今回のメニューで使えるコツを知ることができた」「食材の鮮度がよくとてもおいしかった！」などの感想が寄せられました。

このほか、参加者には直売所から新鮮野菜やAコープ商品の紹介をはじめ、J A共済のお知らせなど、共催した3団体から各取り組みを紹介し、新鮮野菜のお土産を手渡しました。

ご参加いただいた皆さま、またご協力いただいたJ A西印旛および千葉県牛乳普及協会の皆さまに心より感謝申し上げます。

J A全農ちばでは、今後も千葉県畜産物の魅力をお伝えするさまざまな取り組みを実施してまいります。

TOPICS

甲子園出場の専大松戸高校に 県産農畜産物でエール



贈呈した農畜産物

- 千葉県産いちご 20パック
- 千葉県産「粒すけ」100kg
- 千葉県の銘柄豚「房総ポーク」のウインナー 300本
- J A全農ちばオリジナル飲料「フルーツ&キャロット」300本

3月4日(水)、J A全農ちばとJ Aとうかつ中央は、県内生産者とJ Aを代表して第98回選抜高等学校野球大会に出場を決めた専大松戸高校へ県産農畜産物を贈呈し、甲子園での健闘を祈念しました。

贈呈式にあたり、J A全農ちばの松元善一運営委員会会長は「甲子園の舞台では、全国屈指の激戦区『千葉』の代表として、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、思う存分笑顔でプレーしていただきたい。紫紺の大優勝旗とともに千葉へ凱旋されますことを期待しております」と激励しました。また、J Aとうかつ中央の田嶋幸浩経営管理委員会会長は「甲子園ご出場おめでとうございます。地元出身の選手を含め、松戸を代表してぜひ頑張ってください」と地元校へエールを込めました。専大松戸高校の富山尚徳理事長は「“食は力なり”です。千葉の恵みを頂きましたので、選手たちは力を蓄えて優勝してくれると期待しています」と選手の活躍を約束しました。

同校は、昨秋の県大会を制し、関東大会において前回大会覇者の横浜高校を破り、ベスト4に。1月30日に開かれた選考委員会において、代表校に選出されました。3年ぶり3回目となる春の甲子園出場。代表32校の頂点を目指します。



営農用オイル特別推進期間

1 ディーゼル
DH-2/CF-4
10W-30

オススメ

4L・20L・200L

- 最新の排ガス規制対応車両に適合したディーゼル用エンジンオイル。

2 2サイクル
スーパーマルチ (FD)
(25倍・50倍兼用)

オススメ

0.4L・4L・20L・200L

- 前(FC)規格より清浄性能向上
- ピストンやプラグの汚れを大幅に低減。
- 優れた耐焼き付き性能。

2026 **2月4月**

3 SN スペシャル
5W-30

4L・20L・200L

- 品質とコストパフォーマンスを両立したエンジンオイル。
- ターボチャージャー車にも適応。

4 エコ コンバイン油

4L・20L

- 植物性オイルを採用し、環境にやさしいコンバイン用カッターオイル。

5 ギヤ90 GL-5

20L・200L

- 耐摩耗性・酸化防止性・コストパフォーマンスに優れ、自動車・農機のデファレンシャルギヤ用オイル。

6 トラクターギヤ
スーパーマルチ
GL-4 75W-80

4L・20L・200L

- 低温始動性に優れ、アイドリング時間を短縮。
- 高い潤滑性能が摩耗を抑え、機械の寿命を延ばす。

※古いオイルはエンジンやギヤの寿命を縮めるだけでなく、パワー不足、燃費の低下につながります。
※一部商品は特別価格の対象外です。

お問い合わせは **JA-SS・農機センター** までお願いします。
注：オイルを取扱っていないJAおよびJA-SSもございます。事前にご確認ください。

お知らせ

J A全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、
「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN 13:00~13:55 毎週 **生放送**
全国の農畜産物をプレゼントします。

未来つなごぶらりパワー
15:50~16:00 毎週 **生放送**
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

Tokyo fm
Life time audio 80.0

**SCHOOL OF LOCK!
THURSDAY 23:00**

農業部

Supported by **全農**

23:00~23:06 毎週 **生放送**
農業について一緒に楽しく学びましょう。

発行/全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和8年3月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第189号
編集・発行部署/管理部 総合企画課
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

「アグリ情報ちば」の宛名・送付先の変更や送付の停止をご希望の方は、J A全農ちばホームページの
お問い合わせページにご住所・お名前を明記のうえご連絡ください。
新規お申込みをご希望の場合は、お電話にて承ります。

送付先の変更・停止



JA全農ちば
公式HP



JA全農ちば
公式Instagram

